



# 碧南ロータリークラブ週報

第2202回例会 平成15年12月3日(水) 晴、最高16.8℃、最低6.8℃

- 会長 加藤 良邦 ● 幹事 竹中 義雄 ● SAA 杉浦 成人
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90  
TEL <0566> 41-1100 FAX <0566> 48-1100  
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>  
E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)
- 会報委員 竹下 豊・新美惣英・鶴田光久・杉浦昌裕

2003~2004年度  
国際ロータリーのテーマ

手を貸そう



Lend a Hand

## 齊唱

国歌「君が代」  
ロータリーソング「奉仕の理想」

## ● 四つのテスト唱和

## ● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

## ● 本日のお客様

高浜RC 成瀬 勇君、杉浦 誠君、深谷幸則君



本日卓話講師  
当クラブ会員 佐藤哲至君

## 副会長挨拶

昨日、商工会議所開催の経済講演会がございました。現在の日本経済を、世界を含め、過去から分析しまして、現状から将来に向かって予想されました。来年陽の方向に行くと申されました。経済環境が、明るさを増してくれればと期待しています。

また、本日、高浜市在住、陶芸家、神谷英介氏作『協奏』の除幕式がございました。本会館正面玄関右にございます。氏は新しい陶芸分野で活躍されています。会議所新会館建設を通じて大きな陶芸作品の寄贈を受けました。瓦の産地という事で、瓦をイメージした、陶器で、作者の特徴もしっかりと現れていると思います。どうか、帰りに見学してください。

## 幹事報告

他クラブの例会変更等につきましてはお手元の資料の通りです。本日例会終了後第6回定期理事会を306号室にて開催します。次回12月10日の例会前に第3回氏名委員会を開催します。指名委員の方は12時にこの会場にお集まり下さい。また、例会終了後、創立45周年実行委員会を開催します。本日、大正館さんからお歳暮をいただきました、ありがとうございます。

## 委員会報告

### 〈出席奨励委員会〉

総会員数 74名 (内出席免除者 14名) 出席者60名

出席対象者 53/60名	出席率 88.3%
欠席者14名(病欠者0名)	前々回修正出席率 100%

### 〈ニコボックス委員会〉

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

高浜RC 深谷幸則様、杉浦誠様、成瀬勇様 お土産を頂きました。有難うございます。  
新美 孝君 木村克美さんの御友情にあらためて感謝申し上げます。  
鈴木 並生君 11月23日(日) 四日市グレイズヒルズNo.3ホールにて第1打が入ってしまいま

した。入った瞬間は5名誰も確認できませんでしたが、穴をのぞいたらボールがあり、感激致しました。

残念なのは、そのボールを次のホール第1打、O Bをだし、なくしたことです。時節がらコンペは開催しない予定ですので、よろしくお願ひします。

**青木 榧君** 45周年行事について各委員長さんにはお約束とおり報告書の提出をいただきありがとうございました。全体をまとめて一冊として次週の例会に全員に配布いたします。どうぞよろしく。

**伊藤 正幸君** 中部経済新聞に記事を載せていただきました。

**岡本 明弘君** 良い事がありました。

**佐藤 哲至君** 新入会員として卓話を行います。

早退5件 合計 29,000円

#### 〈雑誌委員会〉

ロータリーの友12月号歌壇に青木榎君が入選されました。

『23時モスクワ発の汽車に寝て、レニングラードの朝に目覚める。』

#### 〈親睦委員会〉

12月会員誕生日

1日 新美忽英君 2日 角谷信二君 15日 杉浦建次君 22日 棚田道和君

奥様誕生日

3日 鈴木敏弘君の奥様 玲子様 6日 永井 一君の奥様 つよ様

8日 平岩辰之君の奥様 範江様

結婚記念日

1日 小林 清君・キヨ様 62年 3日 中島 良君・直子様 42年

7日 永井 一君・つよ様 55年 7日 奥谷 弘和君・由紀子様 34年

12日 小笠原良治君・恵子様 29年 14日 山田 純嗣君・茅子様 48年

15日 木村 徳雄君・小百合様 12年 21日 新美 孝君・信子様 46年

27日 山下 照君・充子様 27年

## 卓話

## 「私の履歴書」 会員 佐藤哲至君

### 1. はじめに

皆さんこんにちは。

新入会員の佐藤哲至です。名前が少し読みにくいのですが、哲学の「哲」に至るの「至」と書いて、「てつのり」と読みます。「哲人に至る」と 言う意味で名前をつけたそうですがいたって凡人であります。

中部電力碧南火力発電所の所長に、本年7月、名古屋港にあります新名古屋火力発電所所長から転勤してきました。9月からは、碧南ロータリークラブに入会させていただいております。

私は、三重県四日市市の出身であります。そこから西に10キロほど離れた、菰野町に12年ほど前、家を建て現在は、そこから発電所まで、2時間以上をかけ通勤している。

「私の履歴書」という題でお話しさせて頂くにあたり、まず私のふるさと、出身地についてふれ、電力会社に27年勤務してきた経験の話、私個人の趣味、家族などを話させていただきたい。

### 2. 出身地

私の出身である三重県は、愛知県の隣であるが、全国的にはあまり知られていない印象の薄い県であります。

あるテレビ番組で、東京の真ん中で行き交う人に尋ねました「三重県で有名なところを三つ答

えてください？」と言うのがありました。皆さんは、なにを思い出します。ほとんどの人が、伊勢神宮が最初にでてきました、二番目は、ほとんどの人が答えられませんでした。たまに、鈴鹿サーキット、長島温泉、鳥羽の真珠などの答えでした。次に「三重県は、大阪よりも西ですか、東ですか」、この答えは半分が西、半分が東。大変がっかりした記憶があります。

さて、三重県の三重の由来をご存じですか。これは、日本書紀にあるということですが日本武尊の伝説にあると小学校で教えられた記憶があります。

それは、日本武尊が東国（蝦夷征伐）の京都への帰路、伊吹山の邪神の征伐で傷つき、四日市から西の、亀山にある能褒野で亡くなったそうであります。能褒野にゆく途中石薬師付近（鈴鹿市）の杖突坂と言うところで坂を登るに大変疲れ「我が足三重のまかりなして、いと疲れり」と語ったことからこの地を三重と呼んだといわれています。四日市市は、東海道の宿場町で、江戸時代は、天領がありました。安藤広重の絵には、川の畔で旅人の傘が風に吹き飛ばされそれを追っかけている描写が描かれていますが、私の出身は、その川、三滝川といいますがその付近であります。その付近は、明治以降、万古焼きの拠点地でもあります。その中で、生きてから学校卒業まで約25年過ごしたわけであります。小学校の校歌は、「黒煙吐く、筒柱、林のごとく並び立つ。我が、海蔵の町こそは、四日市市の偉観なり」というものがありました。石炭を燃焼させ、黒い黒煙を巻き散らかし陶器を作っている状況がよくわかる詩であります。

碧南市には、昔（大正12から昭和26年）大浜火力発電所という石炭火力があり、その写真がいま私の部屋においてありますが煙突からは黒い煙があり同じ光景であります。

現在、石炭火力発電所を運転していますが、現代は、排ガス対策が格段に進歩し煙突から見えるものは水蒸気だけになっており、集塵機による効率は、99.9%になっています。

大学は東京、または京都で下宿をして、親元を離れて、と思っていましたがそのようにはならず、大学も、大学院も地元で、親元から通っていました。当時は、月謝が、千円の時代でしたから経済的には親孝行したと思っています。今、息子が二人いまして、いまは、一人東京で下宿していますし、来年からは二人とも東京で大学生ということになりそうです。経済的には大変な昨今です。

### 3、会社生活

就職も縁会って、中部電力となりました。昭和51年の入社であります、丁度、第一次石油ショック後で就職が厳しかったころであります。「エネルギー、食料関係」は、将来良いのではと漠然と思っていました。工学部機械工学科出身ですので、自動車、造船関係への就職者がほとんどでした。中部電力は、技術系は電気工学出身がほとんどなのですが、ゼミの先生の紹介もあって何となく入ったと言うのが現実であります。

中部電力に入社して、入社が1年間は、研修ということで静岡県の営業所、水力発電所を短期間で回っていました。電線引きこみの手伝い、営業所の受付、水力発電所の運転などの勉強をいたしました。正規の配属になり、その後は、ほとんど火力発電所の計画、設計、建設関係の仕事に取り組んできました。

電気がなくては近代的な生活を送ることができない。電気は最もクリーンで利便性の高いエネルギー形態であります。種々のエネルギー資源（石炭、石油、ガス、原子力、太陽光、風力、水力）から電気に変換されますが、この中で、石炭、石油、ガスなどの化石燃料の持つ熱エネルギーを電気エネルギーに変換するシステムを火力発電と言います。日本の電力設備に占める火力発電の比率は、現在、全国的には約60%、中部電力は、比率が高く73%であります。中部電力の発電設備能力は、現在、3323万KW、日本全体の17%の発電能力を持っています。一方、発電電力量の燃料種別内訳は、ガス燃料（LNG）50%（5発電所）、石炭20%（碧南火力）、原子力20%、水力、石油10%であります。

現在、火力発電所の、大きな課題は、熱効率向上と環境対策であります。熱効率というのは、燃料の持つエネルギーがどのくらい電気に変わるかをあらわす指標であります。熱効率向上対策として新しい発電システムを採用することが必要となりこれの開発長く係わって来ました。

一般に火力発電所は、燃料を燃やしてその熱を使い、水を蒸気に変換し、この蒸気エネルギーをタービンという機械で回転力に変え、それと同軸の発電機で電気を発生させています。（参考資料）一方、新しい発電システムである複合発電システムは、燃料を爆発的に燃焼する際の膨張力でガスタービン（飛行機のエンジンみたいなもの）を回転させ、この軸の発電機で電気を発電させるに加え、カスタービンの排気ガス（500度）により、水を蒸気に換え、これによる発電を有効に組み合わせた効率的なシステムです。（図2）この技術は、ガス燃料のみに、採用できる技術です。中部電力の火力発電所でも600万KW程度の実績があります。この開発に、20年ほど取り組んできました。この内容について、名古屋タイムズのある雑誌に紹介された内容がお手元の資料です。もう7年ほど前のものですが。

さて、電気のという商品の特徴

- 1、重要と供給が同時同量でなくてはならない。（蓄えることができない）
- 2、付加価値がつけにくい。
- 3、日本では、輸入していない。

このような、大変難しい商品を、信頼性良く、確実に、安くお客様にお届けするのが大変重要なと考えています。

現在勤務している碧南火力発電所は、日本一大きな石炭火力発電所であり、中部電力管内の電気使用量の、20%を発電しています。このように日本一大きな発電所を維持運営しているわけであります。みなさまに親しまれ、信頼される発電所を目指して、供給信頼性を維持し、環境面でも問題ないよう努力しています。

会社生活の話はここまでとして、家族と趣味の話をいたします。

#### 4、家族と趣味について

家族は、妻、男二人の4人家族であります。

二人の子供は、大学2年、と高校3年です。二人とも、サッカー少年であります。Jリーグ発足ごろがちょうど小学生であります。全国的にサッカーブームになったころだったと思います。もともと、三重県北部は、サッカーが盛んで、四日市中央工業が、高校選手権で全国優勝するなどしていました。

子供は、地元のサッカー少年団に、小学校のころは所属していましたその世話は、父兄が分担して行っておりました。遠征といえば、車の手配などを手分けして行っておりました。中学校になってから、一度三重県代表になって、東海大会に出場したことがありました、中学校のサッカーチームはわれわれだけでほとんどはJリーグの下部組織（グランパスユース、エスパルスユース）であります。結果は、いまでもありません。しかし、子供も、親も団結力では負けなかったと思っています。これを機に、家族全員、大変なサッカーファンです。また、ボイイスカウトに一時期、子供を入れていた経験もあり、募金活動、奉仕活動など懐かしい思い出もあります。

趣味は、古寺、史跡の探訪に家内と時々出かけています。山の辺の道、岩船寺から淨瑠璃寺、湖東三山など。主に、三重県、奈良県付近の散策が主であります。

昔は、テニスをよくやっていましたが、今は、下手なゴルフを月2回から3回程度。また、ゴルフ同好会にお誘いください。最近、運動不足気味ですので、地元のフィットネスクラブに通っています。フィットネスクラブ通いはじめて、もう5年になります、メニューは、30分のジョギング、ストレッチ、プールでのウォーキングです。1時間半から2時間結構いい運動になります。エアロビックスにも挑戦したのですが、有酸素運動が基本ということですが、形にこだわって無

酸素運動に近くなつて断念しています。

この履歴書をお話しうるに当たり、自分の人生を振り返って見たわけであります、場面、場面で多くの人たちに助けられてきたのだなあと痛感いたしました。

碧南ロータリーに入会し、碧南ロータリークラブの皆さんとの出会いを大切にし、ロータリアンの一員として、ロータリーの精神を遵守し諸活動を行っていきます今後ともご指導をよろしくお願いします。

御静聴ありがとうございました。

次回例会案内／12月17日（水）

「伝統産業の現状と今後の展開について」 講師 奥田国人様